

市民活動サポートセンター運営協議会 第2回団体支援部会報告書

<開催日時> 2022年8月10日 午後1時30分～午後3時30分

<開催場所> 本庁113会議室

<出席者>

団体支援部会： 廣田委員、柿崎委員、森委員、田久保委員、齊藤委員

市民協働課： 矢田係長

<欠席者>： (無)

[配布資料]

1. 団体支援部会スケジュール表
2. ふなばし市民大生の体験受入れ事業チラシ
3. 各部会の部会報告書およびスケジュール表の共有について

<議事概要>

1. 前回の部会の内容の確認

報告書を作成した者が次回の議事進行を行う(提案・了承) *次回議事進行は齊藤

2. 市民大学との連携

*市民大学校に応募される方は自分に対しても地域に対しても意識が高く市の財産でもある

(1) ボランティア学科： 実地体験を計画・実施予定 *9/4(日)・11(日)にマッチングの会を実施
16団体がプレゼン予定(現在11団体が申し込み) 団体(約400)にはメールで案内した
当日のプレゼン内容はまとめて(各委員に)情報共有出来るようにする

(2) 他の学部学科の市民大学校在校生にも市民活動のきっかけとなるようなことを行う

① 生きがいづくり～ボランティア活動について～等の切り口でカリキュラムに入れてもらう

② 時間をとって情報提供を行う(関連する団体の紹介・イベントの紹介、参加の依頼)

次回、ふなばし市民大学校の担当者と打ち合わせを行う

(3) 大人のボランティア体験

① 市民活動フェアで市民活動・ボランティア体験が企画されている(1月14日にはマッチング
会も予定)のでそこに集約をする

② 課題としては市民の参加が非常に少ないことがある。応募へ力を入れる必要がある

③ 他の部会とも連動を図る。市民が参加することへのメリット(eg: Point)も検討

3. プレゼンテーションのスキルアップ

① 市民活動フェアに合わせて開催出来るようにする(昨年は各団体が紹介動画を作成)

② 講座企画： 日時・会場・内容・講師・回数・方法(online)・運営の検討

講師の候補者には市民協働課から連絡をいれて調整する

③ 表現の仕方だけではなくコンテンツ・ストーリーの作り方も取り入れる

④ 知識のインプットだけに留まることなくアウトプットの要素も取り入れる

4. プロボノの調査、設立の検討(市民参加部会と連携要)

① プロボノの考え方を導入し団体運営・活動を活発化していく(ワーカーの組織化)

② 次回プロボノ(基本的考え方・体制・運営・メリット等)について説明を行う(齊藤)

5. 参加団体の問題点等について情報の収集・検討

① アンケートの目的： 各団体が現状抱えている問題を認識して対応策を打つ

② アンケートの内容、依頼の仕方、集計・分析も含めどうするか具体的に検討をしていく

6. その他： 各団体の活動内容を把握して連動、討議出来るようにしていく(活動報告書)

<次回開催予定> 令和4年9月8日(木) 13:30～

場所： 市民活動サポートセンター

部会報告作成担当者

齊藤 次回田久保委員